

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 7月25日

松江市長

殿



提出者

住 所 岡山県岡山市上中野1-19-53

氏 名 株式会社穴吹工務店岡山支店

支店長 赤道 正成

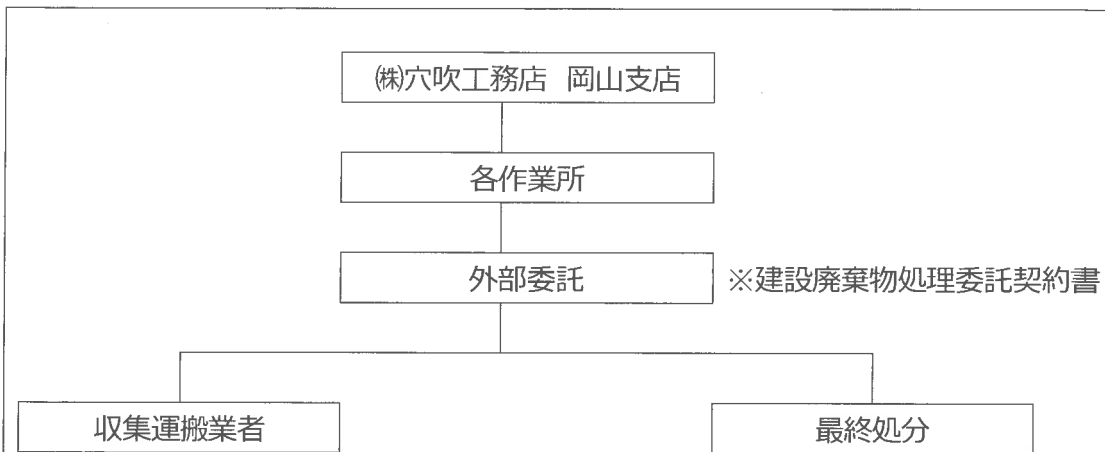
電話番号 086-244-7744

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社穴吹工務店 岡山支店
事業場の所在地	岡山県岡山市北区上中野1-19-53
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高 4,500百万円
③ 従業員数	40名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 廃プラスチック → 委託して中間処分+最終処分 ・ 紙くず → 委託して最終処分 ・ 鉄くず → 委託して最終処分 ・ がれき類 → 委託して最終処分 ・ コンクリート破片 → 委託して中間処分+最終処分 ・ 木くず → 委託して中間処分+最終処分 ・ 石こうボード → 委託して中間処分+最終処分

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ※別紙①参照

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ① 搬入時梱包材の削減 ② 段ボールの再利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） ① 上記2項目の継続 ② 廃棄物の分別を行い、再生利用を促進する		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ① 搬入時梱包材の削減 ② 段ボールの再利用
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物：① 搬入時梱包材の削減 ② 段ボールの再利用

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】 別紙①参照		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2105 t	t
	(これまでに実施した取組) 場外保管をし、埋戻し土として再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	t
	(今後実施する予定の取組) 本年度の排出は無し。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ※別紙①参照

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	① 搬入時梱包材の削減 ② 段ボールの再利用		

③ 計画	【目標】※別紙②参照		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ① 搬入時梱包材の削減 ② 段ボールの再利用 ③ 廃棄物の分別を行い、再生利用を促進する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書【実績】

産業廃棄物の種類 名 称		計 画 状 況										⑩ = ①-②-③-④+⑤-⑥-⑦ = ⑩+⑬+⑭+⑮				⑩優良認定処理業者 への処理委託量(t)
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量 (t)	④自ら中間処理 した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後の再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理 した後の再資源化 した量 (t)	⑩直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分				
											⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量 (t)	⑭その他の処理業者 への処理委託量(t)		
建設汚泥		2,464	2,464	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類		25.53	0	0	0	0	0	0	0	25.53	0	0	0	25.53	25.53	
紙くず		4.77	0	0	0	0	0	0	0	4.77	0	0	0	4.77	4.77	
鉄くず		7.75	0	0	0	0	0	0	0	7.75	0	0	0	7.75	7.75	
がれき類		8.14	0	0	0	0	0	0	0	8.14	0	0	0	8.14	8.14	
コンクリート片		113.35	0	0	0	0	0	0	0	113.35	0	0	0	113.35	22.35	
木くず		15.57	0	0	0	0	0	0	0	15.57	0	0	0	15.57	15.57	
石膏ボード		6.15	0	0	0	0	0	0	0	6.15	0	0	0	6.15	6.15	
安定型混合廃棄物		0.08	0	0	0	0	0	0	0	0.08	0	0	0	0.08	0.08	
合計		2,645.34	2,464	0	0	0	0	0	0	181.34	0	0	0	181.34	90.34	

※別紙②

産業廃棄物処理計画実施状況報告書【計画】

産業廃棄物の種類 名 称		計 画										実 施 状 況										⑩ = ①-②-③-④+⑤-⑥-⑦ = ⑩+⑪+⑫+⑬					⑭優良認定処理業者 への処理委託量(t)
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量 (t)	④自ら中間処理 した量 (t)	⑤④のうち 焼却を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後の再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理 した後の再生利用 分又は海洋投入 処分した量 (t)	⑩直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 (t)	委託先 による 区分	⑪車生利用者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量	⑭その他の処理業者 への処理委託量(t)											
建設汚泥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃プラスチック類		50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	50	0	0	68	0						
紙くず		14	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	14	0	0	14	0						
鉄くず		4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	8	0						
がれき類		10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0						
コンクリート片		50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	50	0	0	136	0						
木くず		50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	50	0	0	28	0						
石膏ボード		50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	50	0	0	21	0						
合計		228	0	0	0	0	0	0	0	0	228	0	0	0	0	0	228	0	0	285	0						